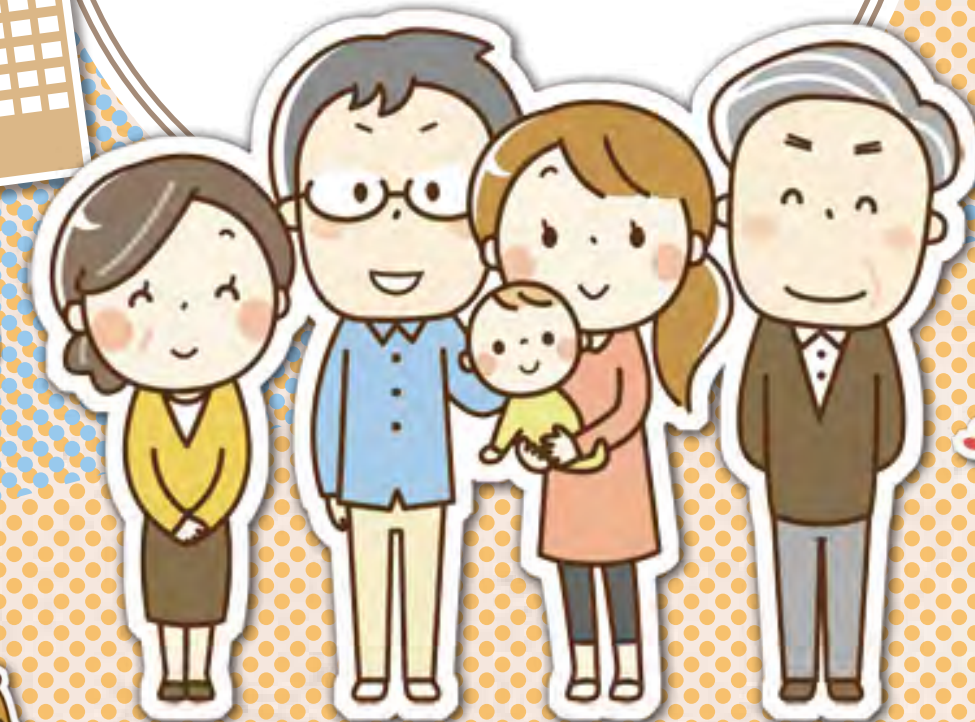


ワーク・ライフ ・バランス

仕事と生活の調和



和歌山県 商工観光労働部 商工労働政策局 労働政策課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL:073-441-2790 FAX:073-422-5004 E-mail:e0606001@pref.wakayama.lg.jp

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/060600/index.html>

ワーク・ライフ・バランスとは？

やりがいのある仕事、そして充実した生活。このふたつのバランスがよければ、素晴らしい人生です。

一人ひとりが仕事にやりがいを感じながら働き、家庭生活や地域活動、自己啓発などの様々な活動についても、個人の環境やライフサイクルに応じて選択し、自分が希望するバランスで実現できること、それがワーク・ライフ・バランスです。

いきいきと働き、経済的に
自立可能な働き方ができる

健康で豊かな生活の
ための時間が確保できる

多様で柔軟な働き方・生き方が
選択できる

メリハリのある働き方は生活のゆとりにつながり、豊かな生活は質の高い仕事につながります。「仕事」と「仕事以外の生活(子育てや介護、地域活動等)」との調和がとれ、その両方が充実することで、好循環が生まれます。



ワーク・ライフ・バランス(WLB)について どれくらい意識していますか？

チェック後は
裏表紙の診断へ

check point

- ☐ 仕事にやりがいや充実感を感じている
- ☐ 仕事を通して自己実現できている
- ☐ 有給休暇などの制度を有効に利用している
- ☐ 仕事は、時間を意識して効率的にできている
- ☐ [家族と同居している方のみ対象] 朝ごはん・夕ごはんを家族と一緒に食べている
- ☐ [子どもがいる方のみ対象] 子どもの話をゆっくり聞いたり、関わったりする時間を持っている
- ☐ [配偶者がいる方のみ対象] 配偶者と家事・育児を協力しあっている
- ☐ スポーツやリラックス法などで健康維持に心がけている
- ☐ 充実した余暇や、趣味の時間を過ごしている
- ☐ 地域の活動やボランティアなどに積極的に参加している
- ☐ 何かあったときに家族や友人に相談できる
- ☐ 自分自身のスキルや魅力を高めるために行動している
- ☐ 自分と家族の将来について、夢(ビジョン)がある

出典：「いしかわの企業が取り組むワークライフバランス」(石川県・(公財)いしかわ子育て支援財団)

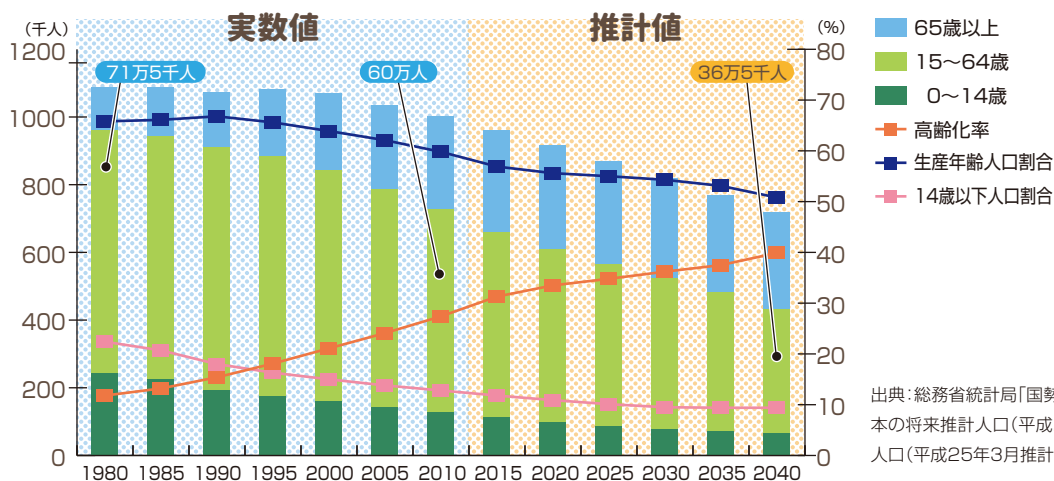
ワーク・ライフ・バランスは なぜ必要？



少子高齢化の進展や人口減少に伴う労働力不足、ライフスタイルの多様化、また共働き家庭の増加など、雇用や就業を取り巻く環境が大きく変化しており、企業には変化に応じた対応が求められています。

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けた職場環境づくりは、優秀な人材の確保・定着、従業員の意欲向上などの効果が期待できるとともに、生産性の向上や長時間労働の是正など、企業の持続的な成長・発展につながる重要な経営戦略となっています。

和歌山県の人口推移



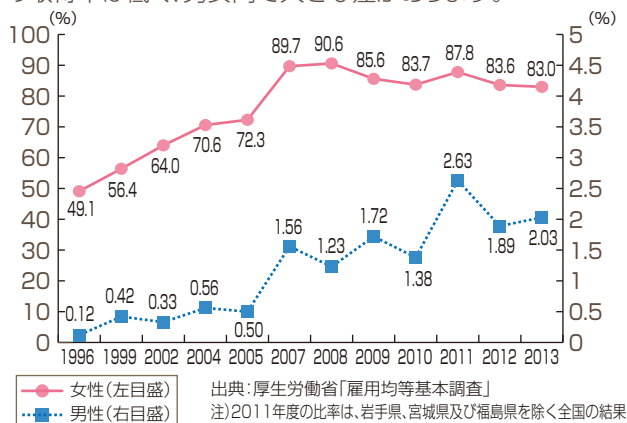
少子高齢化の影響により、生産年齢人口（15歳～64歳）は減少を続け、和歌山県では、1980年から2010年までの30年間で11万5千人減少し、2010年から2040年までの30年間で23万5千人減少するとされています。

出典: 総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人権問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」、「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

多様な働き方のニーズ

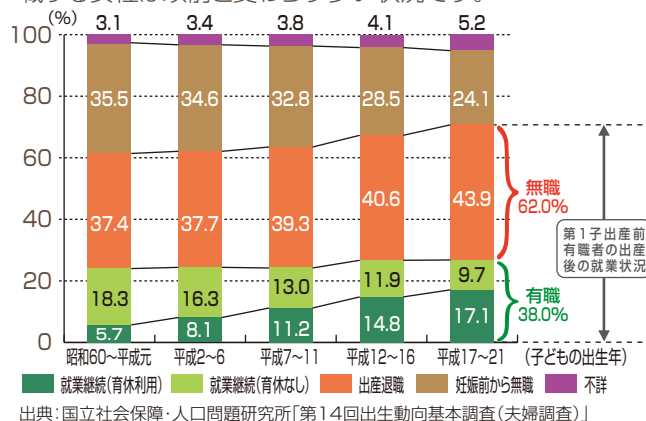
育児休業取得率の推移

女性の育児休業取得率はここ数年横ばいで、男性の育児休業取得率は増加傾向にあります。女性に比べて男性の取得率は低く、男女間で大きな差があります。



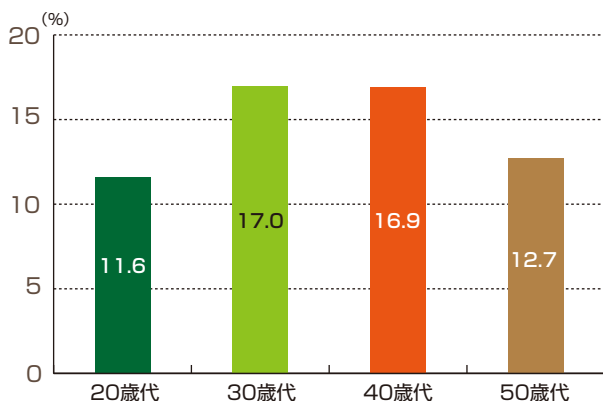
子どもの出生年別第1子出産前後の妻の就業経歴

育児休業を取得している女性は増えていますが、出産前後に継続就業している割合は変わっておらず、出産を機に離職する女性は以前と変わらず多い状況です。



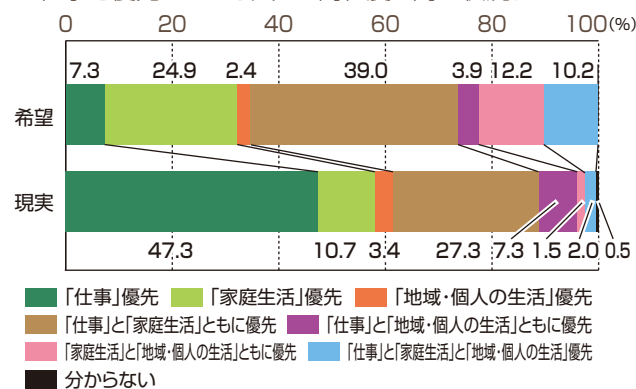
週労働時間 60 時間以上の男性就業者の割合

子育て期にある30・40代男性就業者の約6人に1人が週60時間以上と、他の年代に比べ高い水準となっています。



30 代男性の仕事と生活の調和に関する希望と現実

「仕事と家庭生活をともに優先したい」といった複数の活動をバランスよく行いたいとする人の割合が高いが、現実には、仕事を優先している人が5割程度と高い状況。



ワーク・ライフ・バランスのメリット

①従業員の定着(離職率の低下)

従業員の知識や経験が失われることなく発揮され、新たな採用・育成コストが不要に。

②優秀な人材の確保(採用)

若者は仕事と生活を両立させたいという考えが多数派。優秀な人材の獲得に効果的。



③従業員の満足度や仕事への意欲の向上

従業員のニーズに応えることにより、満足度や仕事への意欲が高まる。



④生産性の向上

業務目標を下げずに効率化を進めることにより、生産性が向上。

⑤従業員の能力向上

子育てや介護、自己啓発、地域活動などの経験により、創造性や時間管理能力が向上。また、業務分担の見直しや業務応援などにより周りの社員の能力も向上。

⑥コスト削減

業務の効率化や離職回避によるコスト削減。長時間労働の是正により、残業代や光熱費などが削減。



⑦企業イメージの向上

様々な機会を通じて、WLBの取組をPRすることにより、企業イメージの向上が期待できる。

ワーク・ライフ・バランスを 実現して、コスト削減



従業員が出産を機に退職する場合と、育児休業を取得・短時間勤務で、就業を継続する場合のコストは？【従業員100～999人の企業の場合】

従業員が出産を機に退職し、3か月後に中途採用者を補充する場合

投入コスト……400万円

節約コスト……312万円

欠員補充までの同僚の業務
代替費……………126万円
中途採用者の採用、研修関係
経費……………73万円
中途採用者の給与…187万円
その他……………14万円

退職者に支払うはずだった
給与等……………312万円

純コスト88万円

従業員が育休取得、短時間勤務を行う場合(期間中は有期雇用者で代替)

投入コスト……1,008万円

節約コスト……936万円

休業期間中の有期雇用者の
給与等……………562万円
休業期間中の同僚による業
務補完費……………38万円
短時間勤務中の有期雇用者の給与等…391万円
その他……………17万円

休業期間中の給与等
……………562万円
短時間勤務期間中の給与等
……………374万円

純コスト72万円

就業継続の方がコストがかからないだけでなく、知識や経験の損失を防ぐことができる！

出典：「企業が仕事と生活の調和に取り組むメリット」男女共同参画会議・仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する専門調査会(平成20年4月)

残業時間が従業員1人あたり1日30分短くなることにより企業全体で1年間に削減されるコストは？

	従業員50人	従業員500人	従業員1,000人
削減コスト	1,253万円	1億3,588万円	3億814万円
人件費(残業時間削減分)	1,204万円	1億3,097万円	2億9,831万円
光熱費(残業時間削減分)	49万円	491万円	983万円
投入コスト	73万円	80万円	91万円
残業削減推進担当者の人件費	73万円	80万円	91万円
純削減コスト	1,180万円	1億3,508万円	3億723万円

業務目標を変えずに業務効率化に努め残業時間を短くすれば、生産性が向上！

出典：「企業が仕事と生活の調和に取り組むメリット」男女共同参画会議・仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する専門調査会(平成20年4月)

企業の取組事例紹介

太洋工業株式会社

URL: <http://www.taiyo-xelcom.co.jp/>

事業内容/フレキシブルプリント基板、基板検査機の製造
所在地/和歌山市有本661 Tel.073-431-6311
従業員数/241名(うち正社員231名)(H27.12現在)

スマートフォンやデジタルカメラなど、デジタル機器に欠かせない電子部品であるフレキシブルプリント配線板の試作・開発を主な事業としています。より良い製品を生み出すためには、技術力のある人材の育成と確保が重要な課題でした。そこで、社員がその能力を最大限に発揮できるように、職場の環境整備や意識改革に努めてきました。また、男性のイメージが強い製造業ですが、これからの会社の発展のためにはさらなる女性の戦力化が欠かせないと考え、全社を挙げて女性社員の育成・登用に取り組み、今では男女が共にすべての部門で希望や能力に応じて活躍しています。

主な取組

「Win-Winプロジェクト」!

仕事と家庭の両立、女性活躍推進を目的として、各部門から女性社員を8名選出し、平成22年にプロジェクトチームを発足。



一人ひとりが自分らしく輝ける職場へ

目標を設定し、チームが進行管理をしながら取組を進めた結果、男性を含めた全社員にとって働きやすい環境へとつながっていきました。一般事業主行動計画(※)達成に向けた取組にも力を入れ、2回のくるみん認定を受けました。(※)「次世代育成支援対策推進法」に基づき、企業が従業員の仕事と子育ての両立を図るために策定する計画のこと

個別面談や情報提供で育児休業を利用しやすい環境に!

育児休業取得予定者と個別に面談を実施したり、休業中の社員へ会社に関する情報をメールで提供。また、出産育児に関する制度をまとめたサポートブックを配布。結婚や出産を理由とした女性の離職はほとんどなくなり、女性の育児休業取得率は100%、男性の育児休業取得者はこれまで5人。(平成27年12月現在)

メンター制度を導入し、若手社員に対する相談体制を整備!

仕事と生活の両面から、メンター(相談相手となる職場の先輩)がサポート。社員同士の協力ネットワークが構築された風通しの良い職場となり、離職防止にも。

男性育児休業取得者の声!

2か月の育児休業を取得

営業職のため、仕事を離れることに不安もありましたが、社内の理解と協力のおかげで特に支障もなく、むしろ今後の自分を見つめ直す良いきっかけとなりました。

家族との貴重な時間を過ごすとともに育児の大変さを実感、夫婦で共に子育てをするという意識が高まりました。

同じ会社に勤める妻も育児休業を取得し、現在は短時間勤務をしています。職場は子育て支援に積極的で、休みも取りやすく、夫婦で子育てをしながら安心して働くことができています。

株式会社双美商会

URL: <http://www.futami-s.co.jp/>

事業内容/ビル総合メンテナンス
所在地/田辺市湊722-4 Tel.0739-23-1781
従業員数/336名(うち正社員20名)(H27.10現在)

ホテルメンテナンス事業を中心に、清潔で快適な環境を整える清掃管理サービスを提供しています。創業当時から女性パートタイマーが9割を超える事業所で、女性が安心して働ける環境を整えることが必要不可欠でした。ホテルのメンテナンスは、チェックアウトからチェックインまでの短時間での作業となります。そのため、昼間に短時間の勤務が可能な子育て中の女性の力に着目し、子育てをしながら働くことができる職場環境づくりに取り組んできました。職場配置や勤務時間などのニーズにも対応し、現在は男性従業員も増え、年齢も性別もさまざまな方が活躍しています。

主な取組

年中無休の託児所(無料)を設置!

小さな子どもがいる従業員も安心して働くことができるように、年中無休・無料の託児所「ひまわり託児所」を平成7年に開設。



取組推進者 多田副社長

子育てをバックアップし、人材を確保

繁忙期・閑散期の時期に応じて開所時間を設定しており、1歳半から小学校入学前の子どもを預かっています。一般の保育所を利用している従業員も、土日祝日に利用することができ、繁忙期の休日にも人材が確保しやすくなりました。

従業員の送迎・移動に合わせた自社バス運行システムを構築!

交通手段の限られた方にも働きやすい職場環境とするため、従業員が各現場に行くための自社バス運行システムを構築。仕事と生活のメリハリが付き、効率的な働き方が可能に。

従業員・同居家族に誕生日プレゼント!

主婦が働くには家族の理解が必要であると考え、家族の協力を得て仕事ができるようにと平成11年から始めた取組。職場内での従業員の交流にも。

託児所利用者の声!

育児をしながら働くにあたって、職場に託児所があるというのはやはり大きな魅力です。

事業所内託児所ですので、子どもが身近にいるという感覚から安心して働くことができ、また、送迎の時間を気にする必要がないので、仕事にも子どもにも余裕を持って向き合うことができています。無料というのありがたいです。



いますぐはじめる ワーク・ライフ・バランス！

仕事以外の生活を大切にしよう！

休暇・休業制度の新設・拡充

- ①育児・介護休業
- ②看護休暇
- ③配偶者の出産休暇
- ④教育・自己啓発・ボランティア等のための休暇・休業
- ⑤年次有給休暇の取得促進
- ⑥その他の休暇(リフレッシュ休暇、学校行事休暇など)

働く時間の見直し

- ①ノー残業デー
- ②短時間勤務制度
- ③始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ
- ④フレックスタイム制度



働き方を選んでもらい、大切な労働力を確保！

働くスタイルの選択

- ①再雇用制度
- ②パート等から正社員への転換制度等
- ③多様な正社員の導入(短時間正社員制度など)
- ④在宅勤務・テレワーク

復職支援

- ①事業所内保育所の設置
- ②保育サービス費用の補助
- ③復帰前の面談
- ④復職支援相談窓口の設置
- ⑤休暇・休業中の職場状況の情報提供



アットホームな職場で従業員の定着率UP！

職場の風土づくり

- ①プロジェクトチームによる検討
- ②相談窓口の設置
- ③新人や管理者への各種研修の実施
- ④子ども(家族)の職場参観



ところで、チェックポイントの結果はどうでしたか？

チェックが
0～5個

WLBを知って、自分の働き方と大切にしたいものを見直しましょう

残念ながら、WLBが実現しているとはいえない状況のようです。何かをあきらめたり、毎日に疲れてしまっていないでしょうか？これで当たり前と思わずに意識を変えていきましょう！まずは、自分がどう働きたいか、何を大切にしたいかを整理して、それに向けて何が足りないのか、阻害しているのかを見つめてみましょう。もっともっと自分らしく輝いて、いきいきとした姿で毎日を過ごしてください。

チェックが
6～9個

WLBの実現にはあと一歩。もっと輝ける自分になれますよ！

充実した毎日を送られているようですが、仕事と家事や自分自身の生活という意味では、もうひとつ調和が足りないかもしれません。ライフの充実では、もっと色々な可能性に挑戦してみたり、心身の健康をはかることで、きっとワークにも良い効果となりますよ。自分の大切にしたいものや夢に向かって、もっと素敵な人を目指しましょう！

チェックが
10個～

素敵なWLBが実現できているようです！

現在あなたは、仕事と家事や育児などの生活が、うまく調和している生活のようです。毎日いきいきと笑顔で過ごしているのではないのでしょうか？これからも、ワークとライフの調和でいきいきとした姿でいてください。子どもの成長など周囲の環境の変化とともに、WLBは変化します。その時々で見直して、輝ける人でいてくださいね。



和歌山で働く女性応援サイト『Happy Worker』

<http://happy-worker.jp/>へアクセス！



和歌山県で働く女性とそのような働く女性を応援する企業のためのホームページです。
企業の先進的な取組やさまざまな職種で活躍する女性を紹介しています。
各種お役立ち情報も掲載していますので、ぜひご活用ください。

H27.12 発行